

教育委員会

教育行財政	X VI - 1
学校教育	X VI - 3
社会教育・文化財	X VI - 11
博物館	X VI - 14
図書館	X VI - 19
学校人権教育	X VI - 24
教育・視聴覚センター	X VI - 26

教育行財政

● 教育委員会開催状況

(令和3年)

会 議	議 案 件 数
15回	30件

● 審議状況

(令和3年)

	制 定	廃 止	全部改正	一部改正
条 例	2 件	—	—	2 件
規 則	1 件	—	—	2 件
規 程	—	—	—	—
要 綱	—	—	—	—

● 市内の教育機関

(令和3年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	一校	一人	一校	一人	2校	1,356人	2校	1,356人
高校全日制	—	—	9	6,715	3	2,364	12	9,079
定時制	—	—	2	650	—	—	2	650
通信制	—	—	1	956	1	674	2	1,630
中学校	22	7,785	—	—	3	712	25	8,497
小学校	37	15,453	—	—	1	365	38	15,818

● 市内児童・生徒数の推移（公立）

(令和3年5月1日現在)

年度	小 学 校		中 学 校	
	計		計	
平成21	18,496		8,501	
22	18,136		8,659	
23	17,795		8,811	
24	17,523		8,886	
25	17,299		8,822	
26	16,843		8,748	
27	16,513		8,828	
28	16,285		8,667	
29	16,185		8,345	
30	16,133		7,920	
令和元	15,865		7,871	
2	15,737		7,760	
3	15,453		7,785	

● 教育費

(単位：千円)

費目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育費 (A)	12,952,260	10,703,718	11,400,741
教育総務費	2,688,741	3,528,576	3,049,032
小学校費	5,882,101	3,282,717	4,564,135
中学校費	2,421,811	2,194,630	2,043,328
幼稚園費	840,475	750,183	654,909
社会教育費	1,119,131	947,611	1,089,337
保健体育費	—	—	—
一般会計歳出額 (B)	123,219,150	152,689,707	132,097,278
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	10.5%	7.0%	8.6%

※他部局での執行分を含む。

※数値は四捨五入していますので、合計が合わない場合があります。

● 児童・生徒1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学校	130,029	142,778	142,768
中学校	113,120	122,982	131,163

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年度 事業	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	校	事業費	校	事業費	校	事業費	
小学校	校舎新增築	1	1,449,784	1	231,342	1	340,717
	大規模改修	2	486,797	—	—	9	1,238,242
	空調施設整備	37	1,454,811	37	43,040	37	34,624
中学校	校舎新增築	—	—	—	—	—	—
	大規模改修	2	587,920	2	316,080	2	178,336
	空調施設整備	22	675,802	22	21,973	22	16,954

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分(備品)	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	21,381	—	37,570	—	41,471	—
	保健	1,611	—	7,236	—	1,558	—
	給食	9,983	6,786	25,381	—	21,898	—
中学校	理科教育等教材・管理	44,878	—	44,878	—	23,894	—
	保健	928	—	928	—	857	—
	給食	—	—	—	—	—	—
合計	78,781	6,786	97,342	0	89,678	0	

・学校教育

● 第3次四日市市学校教育ビジョン【平成28～令和3年度】

○ 目指す子どもの姿 「輝く よっかいちの子ども」

子どもたちが自立した人間としてたくましく生きていくために、また、他者と協働し、共に未来を切り開いていくために「生きる力」「共に生きる力」を育むことを基本理念に据える。

自身が身に付けた知識・技能を実生活で応用するとともに他者と協働しながら問題を解決していく主体的・能動的な能力としての「社会人になっても通用する問題解決能力」の養成を図る。

○ 「輝く よっかいちの子ども」実現のための6つの基本目標

・子どもにつけたい力

(1) 確かな学力の定着

主体的に学習に取り組む姿勢と、基礎的基本的な知識や技能及び思考力・判断力・表現力を養う。

(2) 豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成

学ぶことと社会とのつながりを意識した様々な活動を通して、基本的生活習慣や規範意識、自己有用感、他者と協調し思いやる心など、豊かな人間性を育む。

また、自治能力や、他者との豊かな人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を育む。

(3) 健康・体力の向上

運動やスポーツに親しみ、運動習慣を身に付けることによって、たくましく生きるための体力の向上を図る。

また、自他の健康・安全について実践していく力を養う。

・子どもを支える学校づくり

(4) 学校教育力の向上

学校経営の充実、教職員の資質・能力の向上、安全・安心の教育環境の整備、連携を生かした教育や個々のニーズに応じた教育を推進する。

(5) 地域とともにある学校づくり

学校・家庭・地域がそれぞれの教育的な役割と責任を自覚し、生活リズムの向上など家庭の教育力向上を支援するとともに、家庭や地域と連携・協働した教育活動に取り組む。

(6) 四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

産業と環境、文化が調和するまち四日市ならではの地域資源を教育に生かすことにより、ふるさと四日市に誇りと愛着を持ち、社会の一翼を担う人材を育成するための教育を推進する。

● 平成30年度～学校教育指導方針

(指導の力点) 生きる力・共に生きる力の育成

- ・連続性・系統性を重視した教育による「なめらかな縦の接続」の実現
- ・家庭、地域、関係機関等と連続した「地域とともにある学校づくり」の推進
- ・四日市の地域資源を生かした「ふるさと四日市にふさわしい学び」の実現

(具体方針)

確かな学力の定着

生きて働く基礎的・基本的な知識・技能 問題解決能力を支える「思考力・判断力・表現力等」

グローバル化社会に向けた外国語活動・英語教育 ねらいに応じた少人数指導 教育効果を高める

I C Tの活用 何が身についたか～指導と評価の一体化～ 学びに向かう力を育む家庭学習 遊びを

通しての「学び」

豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成

生き方をみつめる学習を通して育む道徳性 組織で取り組む生徒指導 人権を尊重する行動力を育成するための人権教育 学校図書館の機能を生かした読書活動 子どもの発達段階に応じたキャリア教育 自己と集団の資質・能力を養う特別活動

健康・体力の向上

生涯にわたって運動に親しむための体力・運動能力 心と体を一体としてとらえた健康教育 健やかな心身と豊かな人間性を育むための食育 日常生活に生かす安全教育

学校教育力の向上

マネジメント機能を高めた特色ある学校・園経営 確かな教師力を持った教職員 幼こ保小中の連携を生かした教育「学びの一体化」 特別な教育的支援 ～途切れのない支援～ 共に学び、共に生きる力を育む多文化共生教育 現代的な諸課題に対応する教育

地域とともにある学校づくり

子どもたちの豊かな成長を促す家庭・地域の教育力 地域と協働する四日市版コミュニティスクール

四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

歴史・文化・自然を活用した教育 高度なものづくり産業と連携した教育 身近な素材から出発し社会参加につながる環境教育

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (R3. 5. 1 現在)

学級の種類	小学校		中学校	
	校数	学級数	校数	学級数
知的障害	31	38	18	19
自閉症・情緒障害	36	43	19	21
肢体不自由	10	10	1	1
弱視	1	1	0	0
難聴	2	2	1	1
病弱虚弱	1	1	0	0
通級指導教室 (言語)	3	7	0	0
通級指導教室 (情緒等)	4	6	3	3

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (R3. 5. 1 現在)

区分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	難聴	病弱虚弱	計
小学校	199	209	13	1	8	1	431
中学校	86	104	1	0	3	0	194
計	285	314	14	1	11	1	625

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

- ・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を週2回実施している。
- ・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

また、成長期にある中学生によりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じて食育や地産地消を推進するため、全員喫食を前提とした食缶方式による中学校給食を目指して、令和5年4月稼働を目標に、(仮称)四日市市学校給食センターの整備を進めている。

1. 学校給食実施状況 (令和3年度)

区 分		小 学 校	中 学 校 デリバリー方式
実 施 校 数		37校	22校
対 象 人 員		15,253人	7,563人
調 理 員 数		※ 246人	—
1食当たり額	パ ン	58円60銭	—
	米 飯	62円81銭	—
	牛 乳	55円00銭	—
	パ ン 副 食	148円30銭	—
	米 飯 副 食	144円09銭	—
1 食 当 たり 経 費		261円90銭	300円
年 間 実 施 回 数		179回	180回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	4,600円	(一食)
	低 学 年	4,400円	300円

※調理員内訳 正職員30人 再任用職員7人 パート職員85人 民間委託122人

2. 栄養摂取量 (小学校) (令和3年度)

エ ネ ル ギ ー	625kcal	
た ん 白 質	25.1 g	
脂 質	18.5 g	
カ ル シ ウ ム	357 mg	
ビ タ ミ ン	A	201 μgRE
	B ₁	0.45 mg
	B ₂	0.58 mg
	C	31 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額 (金額単位：千円)

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
小学校	854	8,117	758	9,674	701	14,493
中学校	1,008	13,497	844	9,288	780	11,896
合 計	1,862	21,614	1,602	18,962	1,481	26,389

4. 保健担当者一覧

(令和3年5月1日現在)

職 名	配 置 状 況	人員数
学 校 医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	54 人
学校歯科医		72 人
学校薬剤師	各園・小・中学校1人	34 人
保 健 主 事	各小・中学校1人	59 人
養 護 教 諭	各小・中学校1人 (海蔵小・大矢知興譲小・常磐西小2人) (富田小学校巡回養護を含み2人)	63 人

5. 年齢別体位と平均値

(令和3年度)

区 分		男		子		女		子	
		身長 (cm)		体重 (kg)		身長 (cm)		体重 (kg)	
		全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市
幼	5	111.0	109.8	19.3	18.8	110.1	109.7	19.0	18.5
小	6	116.7	116.4	21.7	21.4	115.8	115.3	21.2	21.0
	7	122.6	122.5	24.5	24.3	121.8	121.5	23.9	23.8
	8	128.3	127.8	27.7	27.3	127.6	127.2	27.0	26.9
	9	133.8	133.4	31.3	31.1	134.1	133.6	30.6	29.9
	10	139.3	139.9	35.1	35.0	140.9	140.7	35.0	34.8
	11	145.9	145.5	39.6	38.9	147.3	146.8	39.8	39.4
中	12	153.6	152.7	45.2	44.4	152.1	151.6	44.4	43.4
	13	160.6	161.0	50.0	49.7	155.0	155.0	47.6	47.0
	14	165.7	165.4	54.7	54.7	156.5	156.4	50.0	49.7

● 奨学金事業

1. 貸与内容

(令和3年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】 大学、短大、専修学校(専門課程)	24,000円/月 入学支度金 50,000円
【貸与額】 高校、高専、専修学校(高等課程)等	12,000円/月 入学支度金 40,000円

2. 貸与状況

(新規貸与者数)

年度	高校生	大学生 (専修学校)	合計
平成			
27	15	19(6)	34(6)
28	12	16(3)	28(3)
29	5	11(1)	16(1)
30	10	6(1)	16(1)
令和			
元	8	13(5)	21(5)
2	5	6(2)	11(2)
3	13	30(4)	30(4)

() は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
事 項	卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

● 私学助成

(令和3年度)

区 分	教育補助
小・中学校、高等学校等	市内在住児童・生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円

● 就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

令和3年度実績

(単位：円)

区 分	金 額
小 学 校	118,305,532
中 学 校	76,409,954
計	194,715,486

1. 小学校

(令和3年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数(人)	児童数(人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	29	369	12	5	17	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	27	453	15	2	17	7
橋北	川原町 25-22	平 25. 4. 1	14	173	6	1	7	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	38	681	23	3	26	6
塩浜	塩浜町 1	平 26. 4. 1	16	195	7	2	9	6
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	35	697	20	4	24	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	25	395	13	3	16	8
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	31	548	18	3	21	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	39	688	22	4	26	7
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	35	649	20	3	23	6
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	30	459	14	5	19	6
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	24	433	15	2	17	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	15	167	6	1	7	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	22	303	11	2	13	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	29	591	19	2	21	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	19	232	9	2	11	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	26	339	12	2	14	6
県	赤水町 1002	明 7. 5. 4	23	321	12	2	14	6
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	30	535	17	4	21	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	42	788	25	5	30	7
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	22	347	12	2	14	6
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	27	493	16	2	18	7
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	24	352	12	2	14	7
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	14	145	6	1	7	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	17	212	9	3	12	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	24	359	12	3	15	6
笹川	笹川六丁目 25	平 31. 4. 1	35	450	16	4	20	6
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	42	839	26	3	29	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	26	369	12	3	15	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	26	544	16	2	18	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	21	302	11	2	13	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	15	170	6	1	7	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	13	182	6	1	7	6
羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	28	536	18	2	20	6
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	33	565	19	3	22	6
中央	元新町 2-36	平 7. 4. 1	17	124	6	1	7	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20	27	448	14	3	17	8
合 計 [37校]			960	15,453	513	95	608	240

2. 中学校

(令和3年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数 (人)	生徒数 (人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	24	291	9	1	10	8
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	12	84	3	1	4	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	19	218	7	2	9	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	15	77	3	1	4	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	39	634	19	2	21	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	23	335	10	3	13	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	21	217	7	1	8	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	30	463	14	3	17	9
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	34	541	16	3	19	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	28	436	14	2	16	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	36	565	17	2	19	9
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	32	542	16	2	18	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	17	157	6	1	7	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	41	684	21	2	23	10
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	16	180	7	1	8	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	24	219	8	2	10	8
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	19	209	7	2	9	9
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	35	530	15	3	18	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	23	295	10	2	12	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	24	306	11	2	13	9
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	32	535	16	2	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	22	267	10	2	12	10
合 計 [22 校]			566	7,785	246	42	288	193

※ 「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

※ 「特支」は特別支援学級数を示した外数

※ 「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

● 私立小・中学校一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（令和3年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創立年	教員数(人)	児童・生徒(人)	学級数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	26	365	13
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	36	362	11
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	33	170	7
四日市メリノール学院中学校	平尾町2800	昭39	37	180	6
合 計 [4校]			132	1,077	37

※教員数には兼務者を含む

・社会教育・文化財

● 社会教育

<令和3年度主要事業>

1. 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

2. 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、37小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

3. 四日市まちじゅうこども図書館事業

まちじゅうで、子どもが自然に本に触れられる環境づくりを行い、子どもの読書活動の推進及び本を通じた多世代交流を図るため、四日市まちじゅうこども図書館を平成27年度から市内の店舗や医院、金融機関、事業所等で開館している。令和3年度は新たに5館を開館し、合計で106館となった。

● 文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保存・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保存するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

<令和3年度主要事業>

1. 文化財の指定・解除

- ・「槍 銘 備州長船法光 長享二年八月日（伝矢田監物所用）」（市指定有形文化財（工芸品） 令和3年10月27日指定）

2. 文化財の保存・活用

- ・久留倍官衙遺跡公園保存活用事業

【保存（整備）】久留倍官衙遺跡公園の整備

東斜面横断側溝設置のための測量、実施設計

【活用】ガイドンス施設「くるべ古代歴史館」

団体見学等受入 22件

企画展「万葉植物で久留倍をまなぼう」、「久留倍から古代の生活をのぞいてみよう！」

研修室ミニ展示「学校連携展示 大矢知興譲小学校 久留倍官衙遺跡公園ポスター展」「ボ

ランティア展「藍染を体験しよう」「木簡年賀状展」

イベント「くるべで勾玉をつくろう！」「端午の節句に菖蒲の葉っぱで髪飾りをつくろ

う！」「親子で万葉植物をじっくり見てみよう！（万葉植物観察会）」「植物を観察して

俳句を読もう！」「ハンカチを青く染めよう！」「木簡に年賀状をかこう！」

久留倍官衙遺跡まつり（開園1周年記念）（久留倍官衙遺跡周辺史跡ウォーキング、コンサート（箏とピアノ） 11/7）

出張パネル展示「久留倍官衙遺跡公園を紹介します。」（さいくう平安の杜（明和町斎宮跡連携事業）

- 講演会「四日市と吉野～壬申の乱でみる・語る・語られる～」(11/27)
 あさけプラザとの連携事業「久留倍官衙遺跡と周辺史跡ウォーキング」(4/25)、展示会
 「国指定史跡久留倍官衙遺跡出土品展」(10/1～12/24)
 市立博物館との連携事業「国指定史跡 久留倍官衙遺跡公園」(展覧処白里亭 1/29～
 2/27)
- ・ユネスコ無形文化遺産・国指定無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」継承支援活用事業
 - 【保存(継承支援)】山車実測図作成(中島組)
 - 【活用】イベント「鳥出神社の鯨船行事」山車蔵巡り(3/12)
 - ・国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」保存整備事業
 - 【保存(維持管理)】環境整備 井戸掘削工事、土地境界面定、植生調査
ボランティアによる環境保全活動(通年作業、年間22回)
 - 【活用】自然観察会(8/7)
 - ・旧四郷出張所維持管理事業
 - 【保存(維持管理)】建物管理、敷地草刈
耐震補強修理工事実施(10月～)
 - 【活用】四郷郷土資料館の開館(工事に伴い、7月から休館)
歴史的建造物現地見学会(4/3)
築100年記念事業(オンライン開催 5/30)
耐震補強・修理工事現地見学会(3/20)
 - ・指定文化財の整備(補助金交付)
 - 【保存】国指定無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」の中島組横幕復元新調
市指定無形民俗文化財「富田の石取祭」の北村祭車復元修理
市指定無形民俗文化財「立阪神社獅子舞」道具修理・衣装新調
県指定有形文化財「木造阿弥陀如来坐像」防犯カメラ新設
市指定有形文化財「大日如来坐像」防犯カメラ新設
市指定天然記念物「中山寺のモッコク」樹勢回復事業
 - ・指定文化財の調査
 - 【保存(調査)】国指定重要文化財「十六間四方白星兜鉢」(文化庁調査官指導 3/10)
市指定史跡「浜田城跡」(試掘調査 5/24～7/14)
 - ・文化財説明板等の整備
 - 【活用】〈新設〉市指定有形文化財「木造薬師如来坐像」(遠生寺)説明板
〈修理・移設〉国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」説明板
市指定有形民俗文化財「奉納御座船模型」説明板
 - ・文化財指定地等の除草・清掃
 - 【保存】国指定天然記念物御池沼沢植物群落・国指定天然記念物東阿倉川イヌナシ自生地・国指定天然記念物西阿倉川アイナシ自生地・県指定天然記念物川島町のシデコブシ群落・市指定天然記念物桜町シデコブシ群落・県指定史跡広古墳A群・県指定史跡天武天皇迹太川御遥拝所跡・市指定史跡大膳寺跡・市指定史跡茂福城跡・市指定史跡冠山茶の木原・市指定有形文化財旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)・保々の中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園
 - ・文化財パトロール
 - 【保存】埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査
 - ・埋蔵文化財

【保存】周知の埋蔵文化財包蔵地内での工事・開発行為等に対する調査

埋蔵文化財包蔵地において、工事・開発等が行われる場合に、遺跡の保存のために試掘・発掘調査を行う。掘削等により現状保存が困難なものについては発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、出土遺物の整理・復元作業や報告書作成、保管等を行う。

発掘調査…貝野遺跡、小方縄遺跡

試掘調査…下之宮遺跡、羽津城跡、小牧大谷遺跡、貝野遺跡、中村遺跡、鐘撞遺跡、平戸山遺跡、茂福城跡・里ノ内遺跡、宮ノ下遺跡、赤坂北山遺跡、浄裕遺跡、中野平古遺跡、西辻遺跡、北山A遺跡、延福寺跡延べ15件

工事立会…宮ノ前遺跡、宮ノ下遺跡、尾平宮前遺跡等延べ50件

報告書発行 『四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書57 一般国道1号北勢バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告VI 川向山添遺跡・江田川遺跡2』

『四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書58 送電鉄塔建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 江田川遺跡3・川向山添遺跡2・横谷遺跡2』

【活用】「第24回発掘展 夏休み！子どものための考古学」（四日市市立図書館 7/28～8/22）

発掘調査記録のフィルム写真のデジタル化

・四日市市文化財保存活用地域計画の策定

策定協議会の開催（12/21）

市内各地区ヒアリング（8月、11月）

市政ごいけんばん（11/12～11/23）

・その他

【保存】第68回文化財防火デー（文化財収蔵施設の防火査察と消防訓練 1/26～28）

【活用】出前講座・資料貸し出し等41回実施

・博 物 館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。

その後、20年が経過し、プラネタリウム投映機器や常設展示の経年劣化が進む中、「四日市公害と環境未来館」の博物館内への併設が決まり、プラネタリウム及び常設展示のリニューアルと一体的な整備を進め、新たな魅力を備えた施設として、平成27年3月21日にリニューアルオープンした。常設展示は、古代から近世までの各時代の特徴を表す建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場とした。プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境についても投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとした。

● 施設概要（平成27年3月21日リニューアルオープン後）

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
	6階	373.48㎡	プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、コスミックギャラリー、コスミックラウンジ
	4階	1,343.05㎡	特別展示室
	3階	1,251.01㎡	博物館常設展（時空街道、丹羽文雄記念室）
	2階	1,321.33㎡	四日市公害と環境未来館常設展
	1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、図書スペース、 研修・実習室
	地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
29年度	292日	50,595人	13,735人	60,068人	124,398人	特別展1回・企画展3回
30年度	287日	50,689人	13,027人	63,389人	127,105人	特別展2回・企画展2回
令和 元年度	285日	44,816人	17,019人	54,079人	115,914人	特別展2回・企画展2回
2年度	255日	18,528人	13,044人	19,457人	51,029人	特別展3回・企画展1回
3年度	260日	29,357人	12,212人	31,344人	72,913人	特別展2回・企画展1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（令和3年8月27日～9月30日）

● 博物館事業

1. 常設展

新しい常設展は「時空街道」として、基本テーマを「四日市のまちの発展の歴史と、そこに暮らしの人々の生活の変化」とし、各時代を特徴づける建物を原寸大で再現した体感型の展示に変わった。

〈 時空街道の旅 〉

博物館で扱う原始・古代から近世までの流れを映像で絵巻物のように見せる。

〈 久留倍の村 〉

久留倍遺跡で出土した弥生時代後期の竪穴住居を再現。この村が道に接していたことから奈良時代の朝明郡衙となることを紹介。

〈 四日の市 〉

四日市のまちの発祥となった室町時代の市を再現。店舗の形態や、取引される品物などを紹介。

〈 四日市宿 〉

江戸時代の東海道の宿場町を再現。問屋場、旅籠の他に、間の宿にみられる茶店などを再現。

〈 四日市湊 〉

2階の四日市公害と環境未来館につなぐ展示として、湊で賑わった江戸時代と、明治初年の衰退期、港の修築によって近代港湾となった四日市港のその後の発展を紹介。

〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2. 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈特別展等 令和3年度開催〉

- ・特別展 日本の写真史を飾る101人 フジフィルム・フォトコレクション
- ・特別展 ミュシャ ～アール・ヌーヴォーの華～
- ・企画展 昭和の暮らし 昭和のおもちゃ

〈学習支援展示 令和3年度開催〉

- ・大昔の四日市 ー弥生時代と古墳時代ー
- ・四日市空襲と戦時下の暮らし
- ・ようこそ！時空街道展

〈特別陳列 令和3年度開催〉

- ・館蔵品展Ⅰ「新収蔵品展」
- ・館蔵品展Ⅱ「珍名・奇名植物ずかん」
- ・館蔵品展Ⅲ「お正月～寅年～」
- ・くるべ古代歴史館出張展「国指定史跡 久留倍官衙遺跡」

3. 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、体感型の常設展の案内をする博物館ボランティア、丹羽文雄記念室の語り部ボランティアの活動により観覧者の展示理解を深めている。さらに、館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの活動も継続して行っている。

4. 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。

5. 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1. プラネタリウム投映事業

プラネタリウムでは、5階フロアを宇宙の港（GINGA PORT 401）と位置づけ、宇宙から見た星空や宇宙から見た地球という新たなコンセプトをもとに、約1億4000万個の星を映し出すことができる世界最先端の技術を盛り込んだプラネタリウム機器を平成27年3月に導入し、観覧者をはるか宇宙の旅へと誘う。

四季の星空と宇宙をテーマとした季節番組（一般番組、ファミリー番組）や夜間特別番組を投映し、宇宙や地球環境、最新の機器の特性を生かした満天の星空の世界を提供している。また、ヒアリングループ受信機の貸出し、車いす用リフトや遮音室を設置し、どなたにもプラネタリウムを楽しんでもらえるように環境を整えている。

《令和3年度季節番組》

〈一般番組〉

- ・重力～宇宙を支配する謎のチカラ
- ・月世界 月に降り立ったらどんな感じだろう？
- ・星の降る夜に ～流星群の正体に迫る～
- ・にゃんこ博士が説く 宇宙からやってくるメッセンジャーの謎
- ・宇宙交響曲 138億年をめぐる旅

〈ファミリー番組〉

- ・秘密結社鷹の爪 THE PLANETARIUM ～ブラブラ！ブラックホールのナゾ～
- ・忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT
月ウサギがクレーターをかけるの段
- ・イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! ーブラックホールとの遭遇ー
- ・ポケットモンスター オーロラからのメッセージ
- ・ハローキティ トウインクル☆ムーンライト

〈夜間特別投映〉

- ・億の星みち 季節★トコロ変ワレバ…季節がハンタイだ！【南半球への旅】
- ・億の星みち 季節★トコロ変ワレバ…日本にない？ミッドサマー【北欧への旅】
- ・億の星みち 季節★トコロ変ワレバ…季節がない？【赤道直下への旅】
- ・億の星みち 季節★トコロ変ワレバ…夜が明けない？【北極・南極への旅】
- ・LIFE いのち『うまれる』ことを再体験

〈幼児番組〉

- ・なないろどうわ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため21回のうち14回中止。中止の回はファミリー番組を投映。

2. 天文教育普及活動事業

天文教育研修、ガリレオ教室、子ども科学教室、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。

3. 天文展示コーナー（コズミックギャラリー）

天文展示コーナーをコズミックギャラリーと位置づけ、JAXA と連携した展示や宇宙から見た地球環境の展示とデジタルシミュレーションをタッチパネルなどで操作できるモニターの設置、太陽系から銀河系までの天体情報を未来像も含めて展示し、宇宙へ旅立つ前の高揚感を高める場とした。また、プラネタリウム番組に関連して、重力のパネル展示及び月面模型の展示を行った。

4. 移動天文車「きらら号」

口径20cmの天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録58人）が参加協力をする。また、天文現象（流星群など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。また、市民公園での観望会では、平成30年に寄贈され口径25cmの天体望遠鏡も活用している。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。令和3年度は定例会を3回開催した。〔委員数14人〕

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に米蔵の跡地に展示棟兼収蔵庫を併設し、資料館として開館している。

●施設概要

所在地	四日市市楠町本郷 1068 番地		
敷地面積	1,229.23 m ² (資料館 932.23 m ² 、駐車場 297 m ²)		
建築面積	338.09 m ²	延床面積	448.24 m ²
構造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ² (四日市市指定有形文化財)
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ² (四日市市指定有形文化財)
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²
	展示棟兼収蔵庫	木造瓦葺 2 階建	196.65 m ²

●施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋

展示棟兼収蔵庫：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

●来館者数 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年8月27日～9月30日まで臨時休館

平成27年度：10,365人 平成28年度：8,102人 平成29年度：7,536人 平成30年度：6,731人

令和元年度：6,325人 令和2年度：2,509人 令和3年度：2,231人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、写生大会、おひなまつりコンサート、しめ縄づくり、企画展示コーナー作品展（市内外の文化サークル）、つるし雛とちりめん遊び展、語り部事業など

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夜間特別開館（夏・秋）とおひなまつりコンサートは中止。

・ 図 書 館

● 施設概要

- ・ 所在地 四日市市久保田一丁目2番42号
- ・ 敷 地 4,738.01㎡
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
- ・ 開 館 昭和48年7月10日
- ・ 建物面積 延4,147.42㎡

(令和4年3月末現在)

1階	一般成人室	15席 (新聞雑誌コーナー・参考図書コーナー・軽読書コーナー)
	児童室	25席
	点字・録音資料室	6席
2階	一般閲覧コーナー	17席
	地域資料室	5席
	郷土作家コーナー	4席
	インターネットコーナー	2席
	展示コーナー	なし
	視聴覚ホール	100席 (現在、利用中止)
3階	学習室	47席
	個人学習コーナー	40席
	スナックコーナー	19席 (図書館用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	10席
	研修室	4席

● 業務内容

開 館 時 間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 (午後5時以降は一般成人、地域資料室のみ) 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休 館 日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間 (6月中の約10日間)、年末年始
館 外 貸 出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自 動 車 文 庫	市内に91カ所の停車場を設け、2台の自動車文庫で月1回 (8月を除く) 巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資 料 複 写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写 (複写料: 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料 (一部を除く) に限る。
資 料 相 談	電話、文書、来館のいずれも可

● 令和3年度事業報告

幅広く豊富な蔵書があり、人と本をつなぐ司書がいる「市民みんなの図書館」として、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、市民ひとり一人のニーズに対応できる読書環境づくり、生涯学習の場づくりに努めました。また、図書展示や読書講座の開催、子育て支援のための取り組みなどを通してより多くの市民が利用する図書館となるよう努めました。

1. 『感染症対策を徹底し安心して利用できる環境づくり』

8月27日から9月30日まで緊急事態宣言の発令に伴い図書館を休館としたが、開館後の図書館サービスの適切な提供により、休館前と変わらない利用状況に戻すことができた。また、昨年度に引き続き、利用者の方が安心して利用できるように、館内の換気、施設内の定期的な消毒、人と人との間に距離を取るためのフロアーマーカーの設置や座席の間隔をあけるなどの対応を行った。

2. 『生涯学習に役立つ幅広く豊富な蔵書』

図書資料の整備を図り、19,269冊の図書資料を受け入れた。また、人権・同和関係事業推進のため、人権・同和関係資料の収集・提供に努めた。

3. 『レファレンスサービスの充実』

レファレンスサービスに取り組み、7,235件のレファレンスサービスを行った。

4. 『図書展示や読書講座の開催』

テーマに沿って資料を展示する企画展示を行い、館内において蔵書の広報に努めた。また、「読書に関するエッセーコンクール」などの講座を行い、市民が読書に親しめるような工夫をした。

5. 『生きる力につながる子どもの読書活動』

小学校への自動車文庫派遣や、職員が学校に向き図書館についての案内を行う出張見学を実施した。また、なのはな文庫（学校貸出専用図書）の貸し出し、調べ学習への対応、学校図書館いきいき推進検討委員会への参加など、学校図書館との連携を図った。さらに、なのはな文庫の担当者として指導課から派遣された職員が、なのはな文庫の管理運営や幼稚園への大型絵本の配送などを行った。

6. 『郷土に魅力と誇りを感じる豊富な地域資料』

地域資料の収集だけでなく、地域資料について広く知ってもらうため、「地域資料室だより」の発行やテーマを決めて資料を展示する「プチ展示」を行うなどの情報発信に努めた。

7. 『図書館ボランティアとの協働、育成や支援』

点訳及び音訳基礎講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。また、点字資料や録音資料に関わる図書館ボランティアのスキル向上のため、点訳・音訳の専門研修会を催すなどの支援を行った。

8. 『情報発信と関係機関との連携』

市が開設した四日市市LINE公式アカウントから、図書館ホームページへのアクセスや、施設や駐車場の混雑状況が確認できるようにするなど、積極的な情報発信に努めた。また、市の関係機関や公共施設の事業と連携した企画展示を行うなど図書館利用者の拡大や市民の生涯学習の機会の提供に努めた。

9. 『新図書館の整備に向けた検討』

先進地への視察は、コロナの影響により実施できなかったが、施設の機能や運営等についての情報収集に努めた。

10. 『視覚障害及びその他の障害により読書が困難な方へのサービスの充実』

点字資料・録音資料等の整備を行うだけでなく、視覚障害者等の読書環境をより充実させるため利用者向けの点録通信「よっとこさ」を発行するなどサービスの周知に努めた。

● 月別事業実施表

月	事業名
4	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(3日)／子ども読書の日企画「絵本の読みきかせ」(17日)／子ども読書の日企画「ザ・男の読みきかせ mini」(18日)／よってこ家出前講座(20日)／子ども読書の日企画「おはなし会」(24日)／子ども読書の日企画「新刊絵本の読みきかせ」(29日)
5	保育幼稚園課出前講座(zoom 対応)(19日)
6	朝明高等学校講師派遣(25日)／よっかいち人権大学講師派遣(26日)
7	日永小学校出張見学(1日)／向陽台高等学校講師派遣(2日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(3日)／夏の絵本の読みきかせ(17日)／リサイクル工作 in 図書館(22日)／夏のおはなし会(24日)／夏のおはなしびっくりBOX(28日)／手づくり絵本講座(29・8月5日、30日は中止)／小学生版夏のおはなしぎんのかい(30日)／「読書に関するエッセー」作品募集(～10月20日)
8	子ども点字教室(6日)
9	
10	富洲原小学校自動車文庫派遣(1日)／塩浜子育て支援センター司書派遣(6日)／常磐小学校出張見学(8日)／四日市農芸高等学校講師派遣(22日・11月5・24日)／下野小学校自動車文庫派遣(29日)
11	点訳・音訳基礎講座(6・13・20日)／浜田小学校自動車文庫派遣(12日)／桜台小学校自動車文庫派遣(19日)／秋の絵本の読みきかせ(20日)／子ども読書ネットワーク協議会研修会(23日)／向陽台高等学校講師派遣(26日)／秋のおはなし会(27日)
12	図書館教育研究協議会司書派遣(1日)／おしゃべりえほんの会(3日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(4日)／読みきかせ入門講座「はじめのいっぽ」(5日)／中部地区市民センター出前講座(17日)／読書に関するエッセー表彰式(19日)／絵本『クリスマス・キャロル』を読む(19日)／音訳専門研修会(22日)／冬のおはなしびっくりBOX(22日)／点訳専門研修会(24日)／小学生版冬のおはなしぎんのかい(24日)
1	読書バリアフリー体験講座(22日)
2	
3	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止（令和3年5月12日～6月20日、8月14日～10月16日、令和4年1月21日～4月4日）

● 過去3年間の利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館日数		270	252	247
入館者数	年間総数	258,256	189,371	194,074
	1日平均	957	751	786
登録者数	総登録者数	38,167	36,177	33,079
	個人登録者(※1)	37,699	35,681	32,599
	(うち15歳以下)	(8,220)	(7,594)	(6,984)
	団体登録者	312	331	316
	点字・録音(個人/団体)	31/125	34/131	32/132
	個人登録率(%) (※2)	12.1	11.5	10.5

貸出者数	貸出者総数	239,566	210,741	225,416
	本館	228,660	201,216	215,377
	自動車文庫	10,401	9,032	9,576
	点字・録音	505	493	463
貸出冊数	貸出冊総数	900,785	790,617	839,234
	本館・(※3)	838,569	737,751	781,620
	(うち雑誌)	(22,839)	(27,511)	(26,408)
	自動車文庫	61,590	52,265	57,048
	(うち雑誌)	(800)	(769)	(967)
	点字録音資料室	626	601	566
	録音	574	561	546
	点字	52	40	20
	市民1人当り貸出数	2.9	2.5	2.7
調査相談 件数	総数	7,791	6,526	7,235
	口頭	7,740	6,451	7,164
	電話	41	68	64
	文書・メール	10	7	7
予約 リクエスト	総数	63,950	68,424	75,548
	本館(窓口)	15,404	13,339	13,824
	本館(インターネット)	41,745	48,719	54,556
	自動車文庫	6,801	6,366	7,168
複写	件数	1,572	599	1,084
	枚数	7,460	3,743	6,549
人口(各年度の3月31日現在)		311,527	310,610	309,338

※1 個人登録者は、5年以上未利用者数を除く

※2 個人登録率＝(個人登録者＋点字・録音個人)÷人口

※3 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

● 蔵書統計(令和4年3月末現在)

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	10,158	10,413	-255	297,984
本館児童	3,529	2,507	1,022	97,758
本館外国語(成人・児童)	229	244	-15	3,725
本館雑誌(成人・児童)	2,389	1,964	425	25,233
点字・録音資料	58	722	-664	3,856
自動車文庫	2,800	1,329	1,471	28,844
自動車文庫雑誌	106	101	5	435
総計	19,269	17,280	1,989	457,835

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	164	5	159	9,226

● 図書購入費（当初予算）の推移

(千円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 額	139,640	134,112	155,222
図書費	26,625	26,625	29,325
その他資料費	3,430	3,430	3,730

・学校人権教育

人権問題を解決する行動力を育成するための人権教育の充実

人権問題を自らの問題と捉え、身近なことから取り組むとともに、主体的に自己選択・自己決定し、問題を解決する行動力の育成を図ることにより、子どもたちの現在及び将来における自己実現を目指します。また、教職員の人権意識を高め、人権教育における指導力向上を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進を図ります。

1. 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「第3次四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
2. 各中学校区の「子ども人権フォーラム」でねらいとする【子どもにつけたい力】が、それぞれの小中学校の全ての学年に系統的に位置づけられた人権教育カリキュラムの作成に努める。
3. 校内研修において教職員の学習機会の充実のため、学校人権教育推進人材バンク登録者（人権教育リーダー育成研修修了者）等を活用し、OJTの促進を図る。
4. いじめや差別のない学校づくりに向けて、教職員・保護者を対象に一人一人の人権意識を高める研修を継続する。
5. 中学校区単位で、子ども人権フォーラム・授業交流・情報交換会等の実践を通じて、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
6. 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子ども・性的少数者等個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。
7. 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防ぐための動画や資料を活用した研修を行い、児童生徒一人ひとりが安心して生活が送れるよう、学校での活用を推進する。
8. メディア・リテラシーと人権に関する出前授業の実施（小3・中2）およびリーフレットの配付、教職員研修会の実施を通して、メディア・リテラシー養成を通じた人権教育の推進を図る。

□幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集
（対象：保育園児、幼稚園児、こども園児、小学生、中学生、高校生）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生）
- ・ 中学校区子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／22中学校区で随時開催）
- ・ 人権のひろば展（12月～1月／展示内容：人権啓発ポスター）

□教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：小・中学校教職員）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員／3回）
- ・ 人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：小・中学校対象教職員）

□いじめや差別をなくす人権意識向上事業

- ・リーフレット「いっしょに考えよう～いじめ問題～」(保護者編)

□指導用図書及び啓発資料の配付

- ・人権啓発カレンダー
- ・四日市市人権作文集
- ・人権学習教材集 ～新型コロナウイルス感染症を通して学ぶ～

□県・市人権教育推進事業

事業名	対象	期間
市人権教育推進校 指定事業	浜田小、神前小、大矢知興譲小、八郷小、保々小、大谷台小、 笹川中、三滝中、朝明中、楠中	1年
子ども人権文化創造事業・ 自己実現支援事業	日永地区、常磐地区、保々地区、神前地区の 子ども人権文化育成協議会	1年
市中学校ブロック 人権文化創造事業	全中学校ブロック(中学校区の全校園)	1年
〔県補助事業〕 地域と学校の連携・協働体 制構築事業	西笹川中学校区、三重平中学校区、中部中学校区 大池中学校区、楠中学校区、三滝中学校区、朝明中学校区	1年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	建物 延べ面積(m ²)	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目1-21 351-7609	S50.11.7	RC造 2F	260.43	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
赤堀児童 集会所		S52.3.31	RC造 2F	310.13	1階 ホール、幼児室、事務室 2階 図書室、学習室
人権プラザ 天白	日永二丁目5-15 346-2803	S48.9.30	RC造 2F	253.26	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31	S造 平屋	258.17	ホール、学習室、図書室、幼児室 相談室
人権プラザ 小牧	市場町1041-24 339-0909	S48.3.15	RC造 2F	301.00	1階 事務所、相談室、料理実習室 2階 ホール、図書室
小牧児童 集会所		S50.3.31	S造 平屋	491.96	学習室、図書室、集会室
人権プラザ 神前	寺方町2281 326-0840	S50.4.30	RC造 2F	338.86	1階 事務所、料理実習室、相談室、 談話室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所		S52.8.31	S造 平屋	562.39	ホール、学習室、図書室、幼児室、 図工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 326-4236	S52.5.25	S造 平屋	227.48	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 四日市市登校サポートセンター
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 四日市市登校サポートセンター

● 業務内容（令和3年度）

事業名	内容
研究	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の企画・運営 (教職員研修講座の企画・運営、「教師力向上のために」による自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員・ベテラン教員研修の推進等) ○ 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
各種連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三泗教育発表振興会（児童・生徒の発表に関する事務・調整等） ○ 四日市こども科学セミナーの企画・運営 ○ 企業連携・大学連携事業・JAXA連携事業の実施（連絡・調整等）
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達・行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援(来所相談、学校・園への巡回相談(就学相談を含む)、電話相談、他の相談機関との連携調整) ○ 「わくわく教室」「ふれあい教室」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し